

平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 大

上場会社名 ジョルダン株式会社

コード番号 3710 URL <http://www.iordan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 俊和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 岩田 一輝

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5369-4051

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	1,235	3.4	204	7.4	206	6.9	97	26.6
23年9月期第1四半期	1,194	9.1	190	20.3	192	20.4	77	△8.6

(注)包括利益 24年9月期第1四半期 104百万円 (36.3%) 23年9月期第1四半期 76百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	18.86	—
23年9月期第1四半期	14.87	—

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
24年9月期第1四半期	4,305		3,399		76.3	
23年9月期	4,381		3,361		74.2	

(参考)自己資本 24年9月期第1四半期 3,286百万円 23年9月期 3,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,350	△0.7	320	△1.3	325	△1.8	165	10.1	31.85
通期	4,800	1.3	650	1.1	655	0.5	340	7.3	65.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益につきましては、当第1四半期における自己株式取得に伴う期中平均株式数の変動を反映した修正を行っております。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期1Q	5,255,000 株	23年9月期	5,255,000 株
24年9月期1Q	90,403 株	23年9月期	48,703 株
24年9月期1Q	5,195,898 株	23年9月期1Q	5,206,389 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年10月1日～平成23年12月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響もあり、雇用情勢は依然として厳しく、企業収益の減少傾向が見られるなかで、一部に持ち直しの動きが見られたものの、海外の経済環境に留意する必要があり先行きは不透明な状況となっております。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資はおおむね横ばいとなっており、情報サービス業の売上高は前年同四半期(平成22年10月1日～平成22年12月31日)と比べ増加傾向にあります。このようなか、スマートフォンの急速な普及や次世代高速無線通信サービスの充実等、メディアの融合に向けた動きが加速してまいりました。携帯電話・スマートフォンにつきましても、当第1四半期連結累計期間末(平成23年12月末)にはインターネット接続の契約数が1億件を超える等、インターネット端末として広く浸透しております。

当社グループにおきましても、インターネットでの更なる事業展開の基盤を確立してまいりました。モバイル向けに提供いたしております「乗換案内NEXT」及び無料版「乗換案内」並びにスマートフォン向けアプリケーション「乗換案内Plus」、無料版「乗換案内」の検索回数は平成23年12月には月間約1億5,000万回となっており、多くの方々に広くご利用いただいております。

このような環境の中で、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,235,729千円(前年同四半期比3.4%増)、営業利益は204,284千円(前年同四半期比7.4%増)、経常利益は206,228千円(前年同四半期比6.9%増)、四半期純利益は97,977千円(前年同四半期比26.6%増)という経営成績となりました。

売上高につきましては、主として、乗換案内事業セグメントにおける売上高が1,003,707千円(前年同四半期比2.8%増)とやや増加したことに加え、マルチメディア事業セグメントにおける売上高が200,336千円(前年同四半期比5.4%増)と増加したことにより、前年同四半期と比べ増加いたしました。これにより、営業利益、経常利益につきましても、前年同四半期と比べ増加いたしております。四半期純利益につきましては、前年同四半期に計上していた投資有価証券評価損がなくなったこと等の影響で、前年同四半期と比べ大きく増加いたしております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (乗換案内事業)

乗換案内事業は全体として、売上高・営業利益ともに前年同四半期と比べやや増加いたしました。

携帯電話向けの事業につきましては、モバイル向け有料サービスである「乗換案内NEXT」とスマートフォン向け有料版アプリケーション「乗換案内Plus」を合わせた会員数は、当第1四半期連結累計期間末には約55万人となっております。NTTドコモのスマートフォン向けポータルサイト「dメニュー」に対応する等会員獲得に努めておりますが、全体として売上高は減少しております。

「乗換案内」の法人向け製品の売上高につきましては、前年同四半期と比べ増加しております。これは主に、ASPサービスの「ジョルダンクラウド」の売上増加に加え、他社サービス向けや従来の製品の売上が伸びていることによるものであります。

旅行関連事業に関しましては、パソコン向けインターネット版「乗換案内」、並びにモバイル向け「乗換案内NEXT」及び無料版「乗換案内」の利用者等に対して、旅行商品の販売を実施しております。全体として売上高は前年同四半期と比べ増加しております。

以上の結果、乗換案内事業全体としては売上高1,003,707千円(前年同四半期比2.8%増)、営業利益322,198千円(前年同四半期比2.1%増)となりました。

#### (マルチメディア事業)

マルチメディア事業では、出版につきましては、当第1四半期連結累計期間において新たに『忠臣蔵四十七士の報復』『新宿アンデッド』を刊行しているほか、隔月で総合オピニオン誌『表現者』を発行しております。

またモバイル向けには、株式会社エクスプレス・コンテンツバンクでは「アクセスBOOKS」「つかえるえもじ」「ゲーム★スター」等を提供しております。

それらの結果、全体として売上高はやや増加しております。また、当第1四半期連結累計期間においては利益の獲得には至っておらず営業損失が発生しておりますが、前年同四半期と比べて損失幅はやや縮小しております。

以上の結果、売上高200,336千円(前年同四半期比5.4%増)、営業損失41,450千円(前年同四半期は43,506千円の損失)となりました。

#### (その他)

ソフトウェア開発の受注及び売上が増加した影響で、前年同四半期と比べた売上高はやや増加しております。損益につきましては、前年同四半期においては営業損失が発生しておりますが、当四半期においては営業利益を確保しております。

以上の結果、売上高44,119千円(前年同四半期比15.0%増)、営業利益5,597千円(前年同四半期は6,680千円の損失)となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、営業利益は、配賦不能営業費用及び内部取引による営業費用の控除前の数値であり、合計は連結営業利益と一致しておりません。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結累計期間末における財政状態は、前連結会計年度末（平成23年9月末）と比較しますと、資産は75,241千円減の4,305,807千円、負債は113,152千円減の906,029千円、純資産は37,910千円増の3,399,778千円となりました。

資産は、流動資産につきましては、206,062千円増の3,308,925千円となりました。これは、現金及び預金が281,345千円増の2,270,970千円となったこと等の影響が、受取手形及び売掛金が52,348千円減の872,954千円となったこと等の影響を上回ったことによるものであります。現金及び預金が増加しているのは主に、前連結会計年度末において長期預金であった定期預金が当四半期末においては満期日までが1年以内になったことにより現金及び預金となっていることによるものであります。

固定資産につきましては、281,304千円減の996,881千円となりました。これは、有形固定資産が21,136千円減の202,565千円、無形固定資産が7,988千円増の287,789千円、投資その他の資産が268,156千円減の506,526千円となったことによるものであります。有形固定資産が減少しているのは、主に償却が進んでいることに加え、本社移転の決定に伴い建物附属設備の一部について除却損を計上していることによるものであります。無形固定資産が増加しているのは、ソフトウェアが16,923千円増の205,871千円となったことの影響が、のれんが8,934千円減の80,410千円となったことの影響を上回ったことによるものであります。ソフトウェアが増加しているのは、主に自社開発の市場販売目的のソフトウェアの取得によるものであります。投資その他の資産が減少しているのは、主に前連結会計年度末にあった長期預金300,192千円がなくなったこと等の影響が敷金及び保証金が28,789千円増の227,105千円となったこと等の影響を上回ったことによるものであります。

負債は、流動負債につきましては、105,732千円減の819,869千円となりました。これは、未払法人税等が56,468千円減の89,790千円、その他に含まれる未払金が51,390千円減の37千円となったこと等によるものであります。未払法人税等が減少しているのは、主に法人税等の支払によるものであります。その他に含まれる未払金が減少しているのは、主に前連結会計年度末において未払いとなっていたサーバー等の工具、器具及び備品の購入代金の支払いによるものであります。

固定負債につきましては、7,420千円減の86,160千円となりました。これは、長期借入金が7,420千円減の75,760千円となったことによるものであります。長期借入金が減少しているのは、主に返済が進んでいることによるものであります。

純資産は、株主資本につきましては、35,991千円増の3,286,063千円となりました。これは、四半期純利益97,977千円が、剰余金の配当41,650千円を上回った影響で、利益剰余金が56,326千円増の2,768,728千円となったことによるものであります。

少数株主持分につきましては、1,918千円増の113,714千円となりました。これは主に、少数株主利益の発生による増加の影響が、一部の連結子会社において自己株式を取得したことによる減少の影響を上回ったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,989,624	2,270,970
受取手形及び売掛金	925,302	872,954
商品及び製品	6,303	10,537
仕掛品	28,996	36,177
原材料及び貯蔵品	403	314
繰延税金資産	80,965	65,981
その他	92,192	71,634
貸倒引当金	△20,926	△19,645
流動資産合計	3,102,863	3,308,925
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,313	46,000
機械装置及び運搬具（純額）	1,734	1,574
工具、器具及び備品（純額）	118,253	104,590
土地	50,400	50,400
有形固定資産合計	223,701	202,565
無形固定資産		
のれん	89,344	80,410
ソフトウェア	188,948	205,871
その他	1,508	1,508
無形固定資産合計	279,801	287,789
投資その他の資産		
投資有価証券	220,875	223,776
敷金及び保証金	198,315	227,105
長期滞留債権	4,760	4,640
長期預金	300,192	—
繰延税金資産	38,897	40,500
その他	16,226	14,973
貸倒引当金	△4,584	△4,470
投資その他の資産合計	774,682	506,526
固定資産合計	1,278,186	996,881
資産合計	4,381,049	4,305,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	302,945	297,826
1年内返済予定の長期借入金	45,865	43,366
未払費用	111,322	119,114
未払法人税等	146,259	89,790
未払消費税等	9,323	22,845
賞与引当金	52,570	26,562
役員賞与引当金	8,300	2,001
返品調整引当金	3,283	2,768
ポイント引当金	25,480	25,730
その他	220,252	189,865
流動負債合計	925,601	819,869
固定負債		
長期借入金	83,180	75,760
その他	10,400	10,400
固定負債合計	93,580	86,160
負債合計	1,019,181	906,029
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	284,375	284,375
利益剰余金	2,712,401	2,768,728
自己株式	△24,079	△44,415
株主資本合計	3,250,072	3,286,063
少数株主持分	111,795	113,714
純資産合計	3,361,867	3,399,778
負債純資産合計	4,381,049	4,305,807



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,194,879	1,235,729
売上原価	527,352	587,211
売上総利益	667,526	648,517
返品調整引当金戻入額	4,823	3,283
返品調整引当金繰入額	4,240	2,768
差引売上総利益	668,109	649,032
販売費及び一般管理費	477,822	444,747
営業利益	190,287	204,284
営業外収益		
受取利息	25	6
受取配当金	52	65
受取事務手数料	—	285
為替差益	—	240
雑収入	3,328	1,741
営業外収益合計	3,406	2,339
営業外費用		
支払利息	347	282
為替差損	426	—
雑損失	18	114
営業外費用合計	792	396
経常利益	192,900	206,228
特別利益		
負ののれん発生益	—	1,550
特別利益合計	—	1,550
特別損失		
固定資産除却損	4,062	5,621
子会社株式売却損	306	—
子会社株式評価損	15,000	—
関連会社株式評価損	—	4,102
投資有価証券評価損	27,113	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,424	—
特別損失合計	47,905	9,723
税金等調整前四半期純利益	144,994	198,055
法人税等合計	68,357	93,608
少数株主損益調整前四半期純利益	76,637	104,446
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△772	6,469
四半期純利益	77,409	97,977

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	76,637	104,446
四半期包括利益	76,637	104,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,409	97,977
少数株主に係る四半期包括利益	△772	6,469

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	975,823	190,056	1,165,879	28,999	—	1,194,879
セグメント間の内部 売上高又は振替高	82	—	82	9,380	△9,463	—
計	975,906	190,056	1,165,962	38,379	△9,463	1,194,879
セグメント利益 又は損失(△)	315,628	△43,506	272,122	△6,680	△75,154	190,287

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△75,154千円には、のれん償却額△11,697千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△63,456千円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,003,666	200,336	1,204,003	31,726	—	1,235,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40	—	40	12,393	△12,433	—
計	1,003,707	200,336	1,204,043	44,119	△12,433	1,235,729
セグメント利益 又は損失(△)	322,198	△41,450	280,747	5,597	△82,060	204,284

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△82,060千円には、のれん償却額△8,934千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△73,126千円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年11月14日開催の取締役会決議に基づき、平成23年11月17日から平成23年12月16日の期間において、市場買付により41,700株、20,335千円の自己株式を取得いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末において、自己株式数は90,403株となっています。